

## 1. 本園の教育目標

本園はキリスト教の精神に基づき、幼い時から「神と人を愛する」正直で愛情と勇気に富み、「命の大切さを尊ぶ」豊かな情操をもった園児の育成を目標に教育を目指す。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

愛する心、祈る心、感謝する心を養い、お互いの気持ちを大切に出きることも達の育成。  
安定して自分を発揮する力や、頑張る力、他者との関係を築く力、社会情緒能力を育てる。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
指導力の質の向上、教職員の自覚を育む。	保育者としての指導力を積む。 子どもの発達について理解を深め、特性に応じた適切な指導が出来る様、研究・考察・又園内で受ける指導を繋げていく。
教育の質の向上のために園内及び園外研修を充実させる。	建学の精神、保育目標を深く理解していき、 誠実に努めることを忘れず日常の意欲・態度・信条を 大事なことで自覚していけるよう職員ひとりひとりが 神さまの愛を感じ、信じる者となり、愛を伝えていけるようにしている。
保育の在り方、幼児への対応	神の愛を感じ、神から預かった子どもたちに対して、言葉がけ・立ち振る 舞いすべてにおいて、「愛する」ことを伝えていく。 異年齢の関わりを大事に思いやりの心を育ていける支援をする。
保護者への対応	おたより、送迎の際、懇談、電話、HPページなどで行っている。 子どもの園での様子を伝え、子どもへの理解を共感し、保護者と 連携を取り、子どもの発達を促す事へ繋げていける様にしている。
特別支援教育を深める。	専門の特別支援相談員を中心に支援の具体的な指導の在り方を を検討している。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども自身に感じさせ、子ども自身が考え、子ども自身が行動に移すといった、子どもの自主性を育てる指導力が足りない。  
子どもを待つという事が出来ずに、すぐに子どもに指示をしてしまう保育を指摘・注意されてもなかなか改善出来ない問題がある。  
教員の意識を改善し、キリスト教の精神に基づく教育が園の根幹であることを学び、子どもの支援に携わっていく必要がある。  
子どもを見る目を養い、子どもの個性、資質を伸ばす保育を心がけていく。  
組織の機能を健全に保つ為、保護者からも良い評価を得られるよう努力していきたい。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
組織・管理体制の整備	キリスト教の精神に基いた、保育の在り方、指導の仕方を深め、 報告・連絡体制及び管理責任者体制を健全に機能させ、 園内の質を高める。
補助教諭配置による人的環境を整える	特別に支援のいる子どもに対しての人員不足をどうクリアしていくか。
特別支援教育	特別支援の手続きはしていないが、個別態応が必要な園児の 保護者への子どもの発達等の共通理解がもてるような働き。 教育的支援の共通理解を深める。 保護者への理解を深める。
新制度への移行に関する園運営のあり方について	認定子ども園への移行期間、しっかり子供たちを卒園させていく。

## 6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められている。
子どもたちひとりひとりを見て下さってるのはとても大変だと思います。
色々なトラブルもありますが、もっと幼稚園内で行っている事をアピールしていけば良いと思います。
豊かな心、祈る心、たくましく生きる人間性の基礎をここで育ててもらっていると感じます。
縦割りでの活動が1日の中でも沢山あって、兄弟が少ない子どもたちにもとても良いと思います。
子供達が明るくてとても素直です。
毎回の手づくりのカードなど、お嫁に行く時、持たせます。
博愛社は心が育つ教育をされていると思います。もっともっとアピールしたら良いと思います。
幼稚園がなくなるのは残念です。

## 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。
--------------------------------